

春日市ため池 ハザードマップ

おおむたいけ 大牟田池

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、大牟田池が決壊し、貯水量が時間とともに流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示しています。

災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- 収容避難所 (小・中学校)
 - 一時避難所 (公民館)
 - 福祉避難所
 - 公共施設など
- なお、浸水する避難所、公共施設などは使用できません。

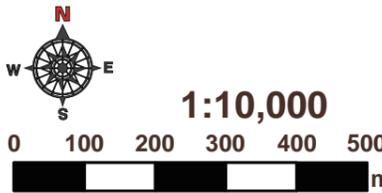
●●●● 到達時間

- ため池
- ため池・河川等
- 土石災害警戒区域
- 土石災害特別警戒区域

浸水の深さ



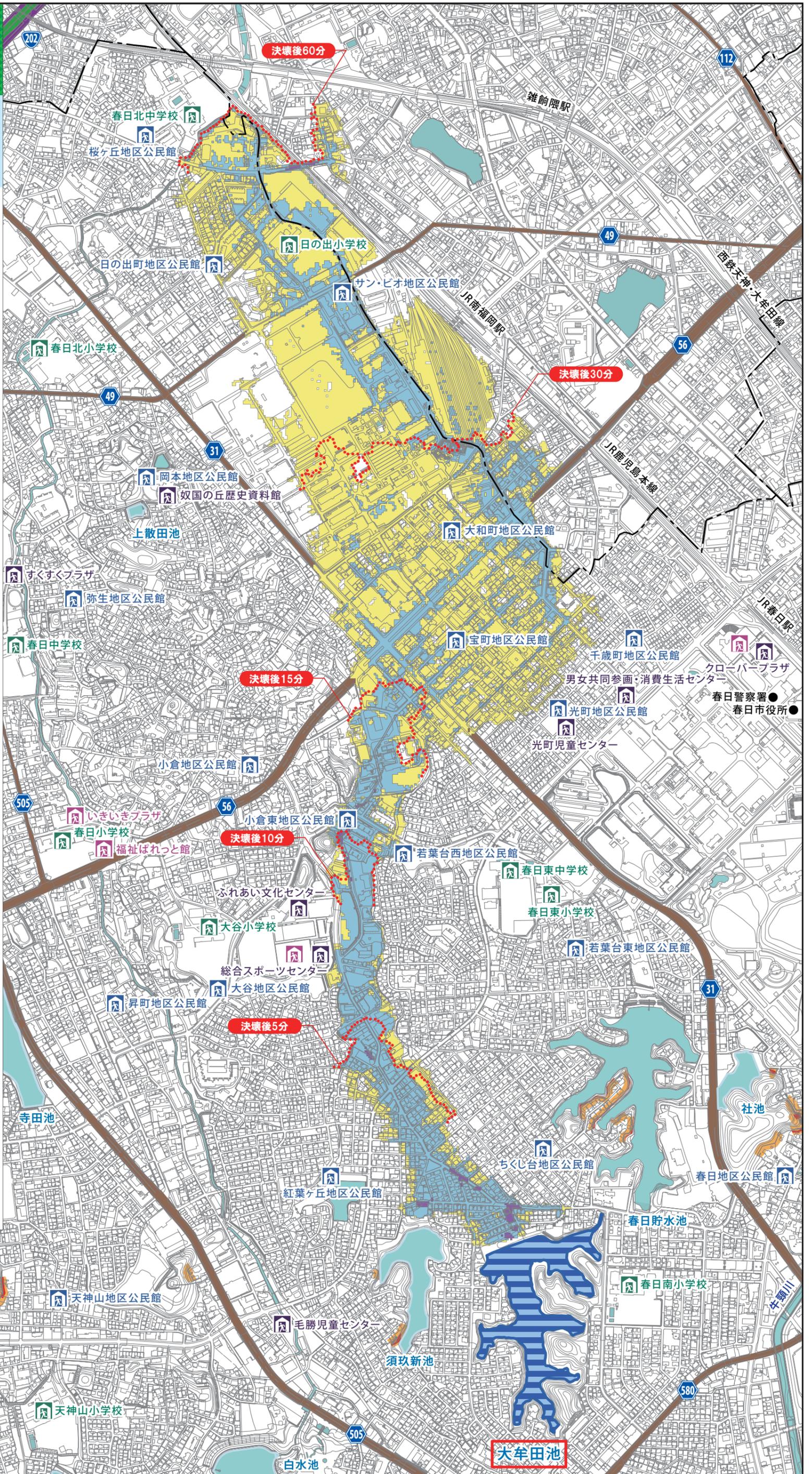
【ため池諸元】	大牟田池
堤高	5.6m
堤頂長	172.4m
総貯水量	263,500m ³



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5JHs 594」

作成/令和6年3月 春日市下水道課

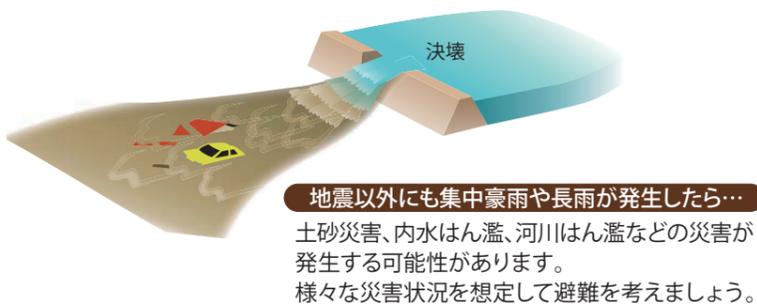


春日市ため池ハザードマップ

おおむたいけ
大牟田池

作成/令和6年3月 春日市下水道課

この「ため池ハザードマップ」は、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に貯水量が時間とともに流出する状況を想定した浸水範囲や深さ、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合や決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



いざというときの緊急連絡先

消防	火事・救助・救急	119 (局番なし)
警察	事件・事故の通報	110 (局番なし)
春日市役所		092-584-1111
春日・大野城・那珂川消防署		092-584-1191
春日警察署		092-580-0110
九州電力 福岡南営業所		0120-639-460
春日那珂川水道企業団		092-571-7001
NTT西日本	故障受付	113 (局番なし)
災害用伝言ダイヤル		171 (局番なし)
パソコン・スマートフォン 携帯電話からは		https://www.web171.jp

インターネットによる最新情報の入手先

春日市LINE公式アカウント

ハザードマップや気象情報、近隣の避難所を検索できる他、緊急時には最新の災害情報を受け取れます。LINEホーム画面から、追加ボタンで「春日市」を登録。

春日市LINE公式アカウント 検索

福岡県防災アプリ

ふくおか防災ナビ まもるくん 防災情報は生活必需品です!

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

地震・豪雨によるため池決壊のメカニズム

もし、ため池が決壊したら…

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

地震によるため池の被災メカニズム

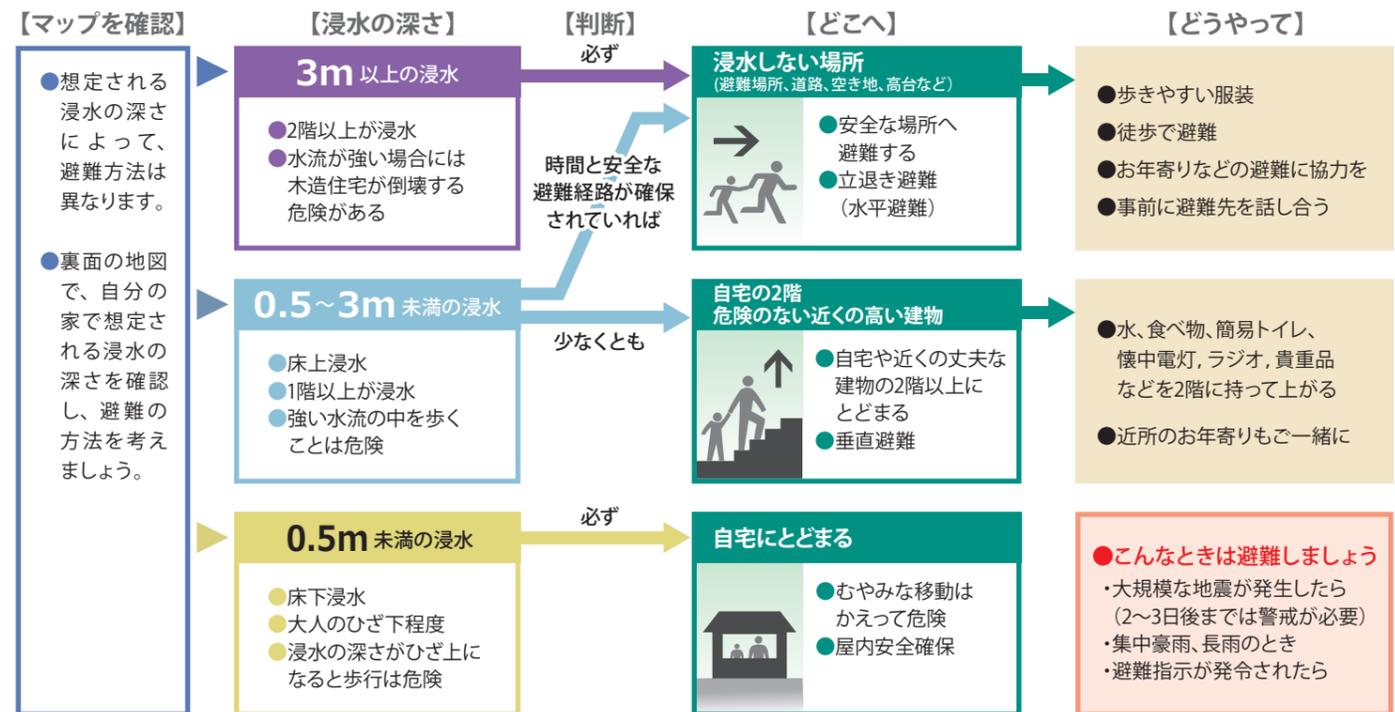
- クラック**
 - 堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。
 - 堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
- 沈下**
 - 堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。
 - 多くは、軟らかい地盤で発生しています。
- 斜面崩壊**
 - 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで、変形が生じる場合があります。
- 斜面すべり**
 - 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
- 崩壊**
 - 堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。
 - 決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨によるため池の被災メカニズム

- 浸透破壊**
 - 堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。
 - また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
- すべり破壊**
 - 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
- 越流破壊**
 - 豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流化することによって、破壊する場合があります。
 - また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

状況に応じた避難をしよう

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ



「警戒レベル4」で全員が安全な場所に避難しましょう

避難情報が発生された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達します。但し、土砂災害や洪水など、他の災害では危険性の高まりに応じて、避難情報を発令しますので、避難開始の参考としてください。



警戒レベル	状況	対応
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保 ※1
< 警戒レベル4までに必ず避難! >		
4	災害のおそれ高い	避難指示
3	災害のおそれあり	高齢者等避難 ※2
2	今後気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。